

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅳ 運動器		井手 貴之		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	2年生教室	前期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	加齢 外傷 2次障害 生活習慣 機能回復 自立				
到達目標	運動器疾患の病因、病変の特徴を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第2章 運動器の構造と機能 第3章 症状とその病態生理 「疼痛」「形態の異常」「関節運動の異常」「神経の障害」
2	第4章 診断・検査と治療・処置 「X線」「MRI」「超音波検査」「シンチグラフィ」 「保存療法(ギプス、牽引)」「手術療法(骨接合術、人工骨頭置換術)」
3・4	第5章 疾患の理解 「骨折(総論、各論)」「脱臼(総論、各論)」 「捻挫及び打撲(足関節捻挫、むちうち損傷、腰部捻挫)」 「筋・腱・靭帯などの損傷(筋断裂、アキレス腱断裂、手指の腱断裂、膝内障、区画症候群)」 「先天性疾患(傾斜、脱臼、内反足)」 「骨・関節の炎症性疾患(脊椎カリエス、関節リウマチ、痛風、偽通風)」 「骨腫瘍」「代謝性骨疾患」「主要な末梢神経損傷」 「脊椎の疾患(変形性脊椎症、腰椎症、腰部脊柱管狭窄症、脊柱靭帯骨化症、椎間板ヘルニア、脊椎分離症およびすべり症、脊椎の姿勢異常、骨粗鬆症、特発性大腿骨頭壊死症)」
5	まとめ 終講試験
履修上の要件	解剖生理学Ⅱ 運動器・筋 解剖生理学Ⅲ 神経系 病気とメカニズム
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 運動器 医学書院 系統看護学講座 専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験 リハビリの実際、脳神経、血液と合わせて「疾病と治療Ⅳ」の単位とする
備考	